(9 日本国特許庁·(JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59—103814

⑤Int. Cl.³B 65 B 35/32A 61 J 3/00

識別記号

庁内整理番号 7726—3E 8214—4C 砂公開 昭和59年(1984)6月15日

発明の数 1 審査請求 有

(全 6 頁)

匈薬剤分包機における分包材料の供給装置

@特

願 昭57-215930

20出

願 昭57(1982)12月6日

⑩発 明 者 湯山正二

豊中市豊南町西4丁目3番8号

⑪出 願 人 湯山正二

· 豊中市豊南町西4丁目3番8号

個代 理 人 弁理士 鎌田文二

明和曹

1. 発明の名称

薬剤分包機における分包材料の供給装置

2. 特許請求の範囲

底板に供給口を形成したホツパと、このホツパ 内に充填した分包材料を上記供給口から連続的に 定量排出する定量払出し装置と、上記ホッパの供 給口下方に配置した第1シュートと、この第1シ ユートの下方に揺動可能な秤量受皿を臨ませた電 磁式秤と、ての秤の針測値が設定値に達したとき 上記受皿を回動して秤量後の分包材料を落下排出 させる受皿傾倒装置と、上記受皿の下方に配置さ れて分包材料の容量分割装置に先端部が臨む第2 シュートとから成り、前記第1シュートおよび第 2 シュートのそれぞれを先端に向けてゆるやかな 下り勾配をもつて傾斜させて弾性支持し、かつ各 シュートに微振動を付与する加振器を設け、第2 シュートから容量分割装置に対する秤量分包材料 の飯送動作と、ホツパおよび第1シュートから歴 雌式作の受阻に対する分包材料の撥送動作とが問 時に行なわれるよう受皿傾倒装置および加振器の作動を自動制御した薬剤分包機における分包材料の供給装置。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、薬剤分包機における分包材料の供給装置に関するものである。

上記容量分割装置は、Vマス同様モーク1の銀

特開昭59-103814(2)

容量分割装置は、上記のように、所定重量の分包材料を数等分に容量分割するため、環状Vマス 5に供給する分包材料は予め計量しておく必要がある。

しかし従来は、分包材料の秤量作業、および秤 量後の分包材料を定量供給装置に供給する作業が 非能率的な手作業であるため、分包の作業能率が

装置に定速供給すると同時に、電磁式秤の受皿に 対する分包材料の供給を開始するようにしたもの である。

以下、この発明の一実施例を添付図面に基づいて説明する。

第3図はこの発明に係る供給装置の概略図を示している。この供給装置は、分包材料を充填するホッパ21の下方に第1シュートを配置し、この第1シュートの下方に能យ式秤を設け、さらにこの電យ式秤の下方に第2シュートを配置してこの第2シュートの先端を第1図および第2図で詳細を示した分割容量装置の環状Vマスの上方一部に臨ませてある。

前記ホッパ21は、第4図に示すように、底板22を育し、この底板22の外周部に供給口23が形成してある。また、ホッパ21の内周下部には供給口23の上方に張り出す受圧板24が扱けてある。このホッパ21の内部に充壌した分包材料は、定量払出し装置25の作助によって供給口23から掛出される。

思いという欠点がある。

そこで、この発明は、上記の欠点を解決し、分包材料の計量作業および計量後の分包材料を容量分割装置に供給作業を連続して自動的に行なえるようにした分包材料の供給装置を提供することを目的としている。

定量払出し装置25は、ホッパ21の底板22上に配置した回転可能なコーン26の外間に複数の羽根27を等間隔に設け、とのコーン26をホッパ21の下部に取付けたモータ28で回転させるようにしている。

なお、コーン26の中心部に前記モータ28で回転駆動される回転軸29を挿入し、この回転軸29に提择串30を取付けておくと、ホッパ21の内部でブリッジが形成するのを防止することができる。

前記ホッパ21の供給口23から排出される分包材料は、その供給口23の下方に設けた案内筒31の内部に流れ落ちるようになつている。 案内筒31は第5図に示すように、上部対向位置に透光部32が設けてあり、その透光部32を挟む一方に投光器33を設け、かつ他方に受光素子34を配置して案内筒31内部の分包材料を検出し、その検出信号によって定量払出し装置25のモータ28の運転を制御している。

案内簡31の下部出口から排出される分包材料

特別的59-103814(3)

は前記第1シュート41で受けられる。この第1シュート41とシュート支持板42とは平行に配置した二枚の板ばね43を介して連結され、上記のシュート支持板41を架台44で支持したスプリング46で受けて第1シュート41を先端に向けてゆるやかな勾配をもつて傾倒させである。また、シュート支持板42には加提器47が取付けてあり、この加提器47を作動すると、第1シュート41が後提動するよりになつている。

第1シュート41の下方に配置した前配の電磁式秤51は、皿支持板52上に秤量物受皿53を載せ、その受皿53の先端部を皿支持板52にピン54を介して揺動可能に連結しており、上記受皿53が第1シュート41の先端下方に位置している。この電磁式秤51は受皿53上に供給された分包材料が設定値に達すると加振器47を停止させるようになっている。

上記受皿傾倒装置 6 1 は、電磁式秤 5 1 の下方に水平に設けた駆動軸 6 2 に受皿傾倒用カム 6 3

を取付け、このカム63の回転によつて上昇し、スプリング64の弾力によって下降する昇降可能なロッド65の上端部に連結ピン66を設け、この連結ピン66を受皿53の側面に取付けた板体67の横長孔68に挿入し、上記カム63の回転によってピン54を中心に受皿53を揺動させるよりにしている。

なお、前記駆動軸62は第7図に示す皿傾倒用モータ69によって回転駆動される。

電磁式秤51の受皿53の下方には、第6図および第7図に示すように導入筒71が配置され、 との導入筒71の下方に前記の第2シュート81 が位置している。

上記導入筒71は、その背面に設けたアーム72の端部を適宜に固定したブラケット73に支持軸74で取付けて揺動可能に支持され、前記の受皿53から分包材料が排出されるとき、下方向に揺動してその下端が第2シュート81の上面に当接するようになつている。

ととで、導入筒71を揺動させる手段は、駆動

軸62に簡昇降用カム75を取付け、このカム75の外周に揺動可能に支持された揺動アーム76の中央部を接触させ、その揺動アーム76の端部と導入筒71とをロッド77で連結し、上記導入筒71にスプリング78をかけて下方向に偏向している。

導入筒71の下方の第2シュート81は、前記第1シュート41と同様に二枚の平行する板ばね82を介してシュート支持板83に連結され、そのシュート支持板83をスプリング85で支持して先端に向けてゆるやかな下り勾配を傾斜させてあり、上記支持板83に取付けた加振器86が作助すると、微振動するようになつている。

この第2シュート B 1 の先端は、容量分割装置 A における環状 V マス5 の外周上方に臨み、第2シュート B 1 の先端から環状 V マス5に分包材料が供給し得るよりにしてある。

なお、第2シュート81に提助を付与する加振 器B6は、皿傾倒用モータ69が駆動軸62を一 回転させて停止すると作動するようになつている。 実施例で示す供給装置は上記の構造から成り、 次にその作用を説明する。

受皿53上に連続的に供給される分包材料の量が増し、その重量が電磁式杆51に記憶させた設値に達すると、上記秤51からの計量信号によって加銀器47が停止し、受皿53に対する分包材

特別昭59-103814(4)

料の供給を停止する。 このとき、 定量払出し装置 25は作動して寮内筒31内に分包材料を供給し ているため、 案内筒31内に分包材料が堆積し、 その堆積する分包材料が投光器33からの投光を 遮光する位置まで堆積すると、 受光素子34が作 助し、モータ28を停止させる。

受皿53上に供給された分包材料の重量が設定値に達すると、次に受皿傾倒装置61のモータ69が作動して駆動軸62を一回転させるので、電磁式秤51の受皿53が揺動し、同時に導入筋71の分類力により下降して下端が終2シュート81に当接し、その作用により上昇し、第2シュート81において定量の分包材料が支持される。

受皿 5 3 を傾倒させる駆動軸 6 2 が一回転して 停止すると、次に、第 1 シュート 4 1 および 第 2 シュート 8 1 に扱動を付与する加提器 4 7 , 8 6

力落下して一定量に容量分割され、その後皿支持板7が回転駆動され、レール9の切り離し部10 において揺動する分割皿の揺動によって、多分割皿8内の分包材料が排出される。

以上のように、との発明においては、ホッパ内 に充填した分包材料を定量払出し装置の作用によ つて下方の第1シュート上に排出し、この第1シ ユートに数振動を付与して上部の分包材料を電磁 式秤の受皿に定速度搬送し、電磁式秤の秤量値が 飲定値に達したとき、第1シュートからの供給を 停止し、かつ受皿を揺動して上部の分包材料を期 2 シュート上に排出し、上記第 2 シュートに付与 する数振動により上部の分包材料を定速度級送し て容量分割装置に供給するようにしたので、容量 分割装置に一定量の分包材料を自動供給すること ができ、しかも容量分割装置に対する分包材料の 供給時に、第1シュートから電磁式秤に分包材料 を供給して秤量するようにしたので、容量分割装 置に関連させる分包装置において、分包作業を含 わめて能率よく分包することができる。

のそれぞれが作動して各シュート41,81に数 援動を付与し、同時に容量分割装置Aの皿面転を ータ1が作動して回転盤7を一方向に定速度で回 転させる。

第1シュート41に数据動を付与するととによって、その第1シュート41上の分包材料が前記と同様に前方に定速度搬送されて電磁式秤51の受血53上に供給され、一方第2シュート81上の分包材料がシュート先端に向けて定速度搬送され、上記第2シュート81の先端から一方向に回転する環状Vマス5上に供給される。

なお、第2シュート81上の分包材料は、一方向に一定速度で回転する環状のVマス5上に定速供給されるので、上記Vマス5の全体に且つて分包材料が均一に堆積し、第2シュート81上の分包材料が完全に排出されると、皿回転モータ6が停止し、同時にカム機構11が作動して円錐筒体4を上昇させる。このため、Vマス5内の分包材料はその下方に設けた環状配置の分割皿8内に重

4. 図面の簡単な説明

第1 図は薬剤分包機に使用する容量分割装置の 緩断正面図、第2 図は同上の皿支持板の一部を示す平面図、第3 図はこの発明に係る装置を容量分 割装置に関連させた予製剤専用機の機略図、第4 図は同上ホッパの縦断正面図、第5 図は周上の第 1 シュートと電磁式秤とを示す正面図、第6 図は 同上の第2 シュート部分を示す側面図、第7 図は 第6 図の11 - 11 機により視た状態の一部切欠断面 図である。

21…ホッパ、22…底板、23…供給口、25…定量払出し装置、41…第1シュート、47…加振器、51…電磁式秤、53…受皿、61…受皿傾倒装置、81…第2シュート、86…加振器。

特許出願人 湯 山 正 二

同 代理人 ■ 田 又 二







